

〈はじめに〉

私たち人類はその歴史のなかで、絵画をはじめ多くの芸術作品をつくってきました。それらを見ると、当時のできごとや人々の生活のようす、興味や関心など、さまざまなことに気づきます。

〈原始・古代〉



A ラスコーの壁画（第一学習社『最新世界史図表』）

壁画 A は、フランスの南西部ラスコーで発見された、今から約 1 万 7 0 0 0 年ほど前に描かれた壁画です。牛や鹿などの動物たちが生き生きと描かれています。この壁画は狩りの成功を願うために描かれたのではないかとされています。この時代は日本では縄文時代にあたります。日本列島では、北海道の余市町の今から 1 8 0 0 年前ころの洞窟（フゴッペ洞窟）に壁画 B があります。ここには人物や船などが描かれた線刻画（石や洞窟の壁に刻まれた彫刻のこと）が残っています。このように壁画などに記録し、文字を使用しなかった時代は、先史時代と呼ばれます。縄文時代になると、人々は狩りをしたり、自生している植物をとったりするなどして食料を得ていました。



B フゴッペ洞窟内部に描かれた線刻画
（北海道余市町ホームページより）

その後、現在の福岡県の志賀島で発見された 2 ページの写真 C の(1)□□に見られるように、1 世紀のころには中国で記された(2)□□がもたらされました。この文字が使われるようになって、芸術の意味は少しずつ変わっていきました。古墳時代になると、(2)□□は中国や朝鮮半島からやってきた人々が中心となって造った剣や銅鏡に刻まれました。こうして、(2)□□は日本列島に広がっていきました。

〈古代〉

6世紀前半、朝鮮半島を経由して日本に仏教が伝わりました。仏教と同じころに仏像の技術も伝わり、人々の信仰の対象として、各地で造られました。



C (1) □□

(第一学習社 『最新日本史図表』)



D 釈迦三尊像

(第一学習社 『最新日本史図表』)

Dの仏像は、7世紀前半に造られた(3)□□□□の法隆寺にある釈迦三尊像です。これは病に倒れた厩戸王（聖徳太子）（574～622）の回復を願って造られたとされており、日本の仏教美術の原点の1つといわれています。これ以降も、人々は病のようすや病そのものへの恐れを描いていきました。

〈中世〉



E 融通念仏縁起絵巻
(小学館 『日本美術全集 9』)

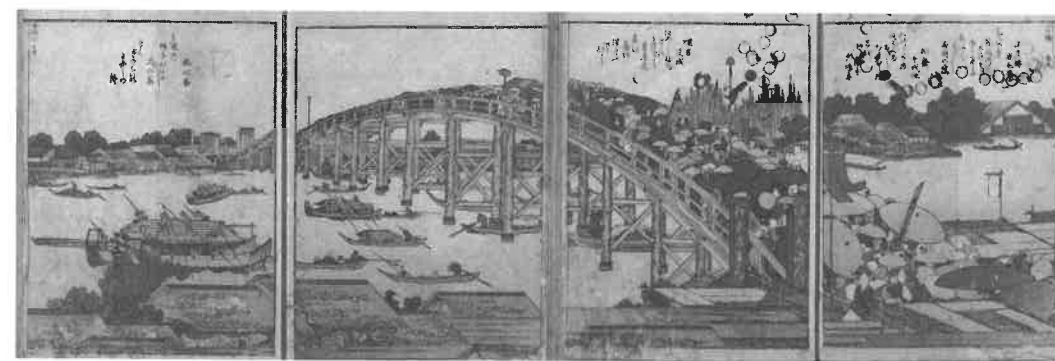
15世紀初めに描かれたEの『融通念仏縁起絵巻』では、当時猛威をふるっていた天然痘（天然痘ウイルスによる感染症の1つで、疱瘡ともいう）への恐れが描かれています。ここでは門前に迫る鬼のようなものが天然痘を表し、向かって右奥ではこの家の人びとが念仏（仏教におけるおこないの1つで、仏の名前を唱えること）を唱え

ています。つまり、仏の力によって鬼、天然痘を退散させるというメッセージが込められています。医療が現在ほど発達していなかった時代、人々は美術を通して死や病と向き合いました。

〈近世〉

戦国時代を経て江戸時代に入ると、庶民のあいだにも美術が普及していきました。

それまでの美術作品の多くは、天皇や貴族、将軍・大名などの趣味や生活の一部として、広い屋敷や神社、寺などに置かれていました。茶室に飾られた掛け軸や、城や屋敷の部屋の仕切りとして使われた屏風に描かれた屏風絵などがよい例です。その後、社会が安定し、庶民の生活も豊かになるにつれて、絵の内容は人々の普段の生活の一部を描くものが増えていきました。もちろん、当時の社会は武士を中心とした身分制度を土台にしたものでしたが、一方で経済は町人たちの活発な活動に支えられるようになりました。さらに、このころ広がった(4)□□□□に代表される版画の手法により、今までよりも安くたくさんの作品を制作できることから、人々の手により届きやすくなりました。つまり、庶民もこうした作品を手軽に楽しめるようになったのです。



F 絵本隅田川両岸一覽 (小学館 『日本美術全集 15』)

Fの『絵本隅田川両岸一覽』は、『富嶽三十六景』などで知られる葛飾北斎（1760～1849）によって、19世紀初めに描かれた(4)□□□□による絵本の代表作の1つです。ここでは隅田川沿いの景色とそこに集まる人々のようすが生き生きと豊かに描かれています。しかし、庶民の文化が栄える一方で、絵師たちは必ずしも自由に制作できたわけではありませんでした。幕府の政治を批判するような作品は描くことができなかったのです。11代将軍徳川家斉（1773～1841）の時代の1790年には、版画のもととなる下絵の段階で、おもに町奉行所が中心となって検閲（内容や表現を公の機関が取り締まること）をおこなう制度がつけられました。

〈近代〉

江戸幕府が倒れ、旧幕府軍と新政府軍が争った(5)□□戦争を経て明治時代に入ると、日本にはヨーロッパの技術や制度・学問などが入ってきました。(6)□□□□と呼ばれるこのような風潮ふうちようのなかで、西洋の絵画を学ぶ人も増えました。これにより、西洋の油絵あぶら えや遠近法えんきんぽう（絵画や図面などで遠近感を表現する手法）などの技法なども広がり、人々がこうした作品を目にする機会も増えていきました。新聞も全国各地で発行され、そこには明治維新の中心となった旧薩摩藩や旧長州藩出身の政治家を扱った風刺画ふうし が（人や社会を批判することを目的に描かれた絵画）も多く描かれました。

19世紀の終わりから20世紀の前半にかけて、日本から西洋の絵画を学びにヨーロッパへ渡る画家が多く現れるようになりました。



G アツツ島玉碎^{ぎよくさい} (梨の木舎 『画家たちの戦争責任』)

Gの『アツツ島玉碎』を描いた藤田嗣治（1886～1968）は東京府牛込区（現在の東京都新宿区の一部）で生まれ、幼いころは医者だった父の仕事の都合から熊本県で過ごしました。東京に戻って高校・大学を卒業した藤田は1913年、(7)□□□□□□□□が始まる1年前にフランスに渡り、パリで西洋画を学びました。藤田は混乱のなかでも1日14時間も絵を描く生活が続け、(7)□□□□□□□□が終わった翌年の1919年には、パリの展覧会で出品した6点全てが入選して、注目されました。1929年、藤田は日本への一時帰国を果たしましたが、同じ年にニューヨークの株式市場の暴落から始まる世界恐慌が起こり、日本もその影響で深刻な不況に陥りました。失業者も増えるなかで、この不景気を外国への侵略によって解決しようと軍部（軍を政治的な存在とみて用いる呼び方）が力を握るようになり、1931年に始

まった満州事変によって、日本は(8)□□□国の東北地方への侵略を本格化させた。

このころになると、絵画や歌、小説などの文学作品、新聞なども戦争を扱ったものが増えていき、その多くは戦争の宣伝やそれをたたえる内容になっていきました。世界を回った藤田は1938年、前年から始まった日中戦争の従軍画家（戦地に赴いて、それを題材に作品を描く画家）として(8)□□□国に渡り、湖北省の武漢や商業都市として栄えていた上海などを訪れ、翌1939年に帰国しました。

(9)□□□□年にアジア・太平洋戦争が始まると、藤田はベトナムのハノイやシンガポールをはじめ南方の日本軍の占領地を訪ね、戦争のようすを記録しました。1943年に開かれた国民総力決戦美術展こくみんそうりよくっせん びじゅつてん（国民の戦う気持ちを高めるために陸軍が中心となって開いた、戦争のようすを描いた作品を披露する展覧会の1つ）で発表された、この『アッツ島玉砕』は、北太平洋のアリューシャン列島ひろうでのアッツ島守備隊の全滅を描いたものです。この戦いで、日本軍はアメリカ軍の前に約2600名の戦死者を出し、「玉砕」（全滅のこと。全滅という言葉の印象を和らげるために「玉のように美しく砕け散ること」と表現した）しました。戦死者を主役に置いたこの作品は広く報道され、訪れた人のなかには絵の前で手を合わせ、賽銭さいせんを置く人もいました。このように、この時代の絵画の多くは国や軍部に利用され、戦争を続けるために戦死などの悲惨な状況も絵画のテーマとして扱われました。

〈現代〉

1945年、アジア・太平洋戦争が終わり、戦争に敗れた日本はアメリカを中心とする連合国軍に占領されました。日本政府は、その指示のもとで民主主義国家として再出発するため(10)□□歳以上のすべての男女に選挙権を保障するなど、戦後改革と呼ばれる多くの改革をおこないました。1946年1月3日には新たに日本国憲法も公布されました。戦争を否定する平和主義や表現の自由などが明記され、さらにこの憲法をもとに小学校6年間・中学校3年間の(11)□□□□制度などもつくられて民主的な社会をつくることが目指されました。

アメリカとソ連の(12)□□と呼ばれる対立が激しくなる中で、日本は1951年にサンフランシスコ講和条約を結び、翌1952年に独立を回復しました。1956年には国際連合への加入も認められ、国際社会にも復帰しました。その後、日本はアメリカとの軍事や経済の結びつきを強めながら、産業を急速に発展させていきました。しかし、このような発展は、外国との取引も増えて食生活をはじめ生活が豊かになる人も増えた一方で、深刻な公害を引き起こすことになりました。環境保護の問題は日本をはじめ多くの国の課題になっていきました。



H ガーナの子 (ウララコミュニケーションズ 『MAGO NOTE 1』)

今日では、^{こんにち}H の作品のような「現代アート」と呼ばれる作品があります。この作品をつくった^{ながさか ま こ}長坂真護さん(1984～)は、西アフリカにあるガーナという国のなかに違法に捨てられている^{でん し は い き ぶ つ}電子廃棄物(電気製品や電子製品で不用とされたもの)を使ってアート作品をつくっています。電子廃棄物は日本などの先進国で生産されたもので、現地の人々は、この廃棄物から取り出した金属などを売って生活しています。長坂さんは「地球の環境に悪い場所。何よりも働いている人たちの健康に最悪だというのは、行けばすぐに分かる。我々先進国から出た電子製品が環境汚染や^{たん}現地の人の短命化につながっているとすれば、何とかしたい。少なくとも彼らの命を^{えんめい}延命したい。」と、作品を売って得た資金でまずはガスマスクを買い、現地の人々に配りました。目標は最先端のリサイクル工場を建設して、ゴミの山を「宝の山」とすることだと話しています。

〈おわりに〉

現代に暮らす私たちは、長い人類の歴史の中で作られた絵画や彫刻作品を通じて、それぞれの時代を知る手がかりにすることができます。さまざまな作品を通して、これからの社会の課題やあり方について考えてみましょう。

おもな参考文献

『藤田嗣治「異邦人」の生涯』 近藤史人 講談社

『MAGO NOTE 1』 長坂真護 ウララコミュニケーションズ

『画家たちの戦争責任』 北村小夜 梨の木舎

『日本美術全集 18』 小学館

『日本美術史事典』 平凡社

『アエラ』 朝日新聞出版 2018年11月5日号

長坂真護ホームページ MAGO GALLERY <https://www.magogallery.online>

問1 文章中の空欄(1)～(12)に入る語句・数字を答えなさい。□内に1字とする。
漢字で書くべき語句は、漢字で書くこと。

問2 下線部㊦について、日本でも1万年以上前の石を打ち欠いてつくられた石器が見つかっています。1946年に発見された岩宿遺跡の場所として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。



問3 下線部①について、縄文時代の暮らしの特徴として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. さまざまな形の埴輪^{はにわ}を造っていた。
イ. 土偶^{どぐう}と呼ばれる人形を造っていた。
ウ. 身分の差や貧富^{ひんふ}の差があった。
エ. 青銅器や鉄器が使われた。

問4 下線部②について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 北海道の農業について、下の都道府県別の生産割合の図の空欄①②に当てはまる農産物を、次のなかから選び、記号で答えなさい。

① (2018年)		② (2019年)	
北海道	28.6%	北海道	100%
千葉県	19.0%		
徳島県	8.5%		
青森県	6.5%		
その他	37.4%		

(『日本国勢図会 2020/21』をもとに作成)

- ア. にんじん イ. レタス ウ. ピーマン エ. てんさい

(2) 下の地図の、流域面積が日本で2番目に広い川の名前を、漢字で答えなさい。



(3) 次の新聞記事(『朝日新聞』2020年9月17日号 内容はそのままに読みやすくしています)に関する①②の問いに答えなさい。

- ① が捕れない。8月の漁獲量^{ぎょかく}は過去最低だった昨年の2割に低迷。12月まで来遊量は昨年を下回るとの予測もある。庶民の食卓^{いろど}を彩ってきた秋の味覚に何が起きているのか。
② の水揚げ量が10年連続日本一を誇る北海道根室市の花咲港。8

月26日の初水揚げは昨年の1%の約6トンにとどまった。初競りは1キロ5508円の最高値がついた。9月に入っても低調だ。4日に水揚げした第65新生丸の船員は「魚群が薄く、探すのが大変だった」と嘆いた。

落語「目黒の① 」にちなみ、宮城・気仙沼産の① を振る舞う東京の「目黒の① 祭」は今年、新型コロナウイルスの影響で中止に。関係者は「来年以降も今のやり方で続けられるのか」と不安視する。

① はなぜ捕れないのか。

国の研究機関「水産研究・教育機構」の巢山哲^{すやまさとし}さんは「原因ははっきり分らないが、近年の傾向として資源量の減少と漁場の沖合化が見られる」と指摘する。

① は北太平洋に広く分布する。群れの一部が日本近海を南下して産卵に向かうため、沿岸に好漁場が形成されてきた。だが、近年は分布が東にずれ、日本近海に来る① が減っているという。

②海流や水温など、海洋環境の変化も資源量の減少と関係しているとの見方もある。寿命が2年と短い① は、海洋環境の変化に左右されやすい魚種^{ぎょしゅ}だとされる。

①空欄①に当てはまる水産物を、答えなさい。

②下線部②について、この水産物の漁獲量には東北地方の太平洋側を流れる海流が影響しているとも考えられています。この海流は何ですか、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. リマン海流 イ. 日本海流 ウ. 千島海流 エ. 対馬海流

(4) 17世紀、松前藩^{まつまえ}(現在の北海道松前郡松前町)と争った、蝦夷地^{えぞち}(現在の北海道)で暮らしていた人々のことを何といいますか、カタカナで答えなさい。

問5 下線部③について、官営八幡製鉄所(1901年に操業^{そうぎょう}を開始)が福岡県八幡村(現在の福岡県北九州市八幡東区^{ひがし})につくられた理由を、2つ説明しなさい。

問6 下線部④について、16世紀の終わりにおこなわれた朝鮮出兵のときに朝鮮から連れてこられた焼き物をつくる職人(陶工^{とうこう})らが始まりとされる、佐賀県の特産となっている焼き物を、漢字で答えなさい。

問7 下線部㉔について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

- （１）607年に、中国に派遣された使者を、漢字で答えなさい。
- （２）（１）のような使者が派遣された理由を答えなさい。

問8 下線部㉕について、このころ、中国大陸の明との間でおこなわれた貿易で日本にもたらされた品を2つ、漢字で答えなさい。

問9 下線部㉖の時代の日本と外国の関わりについて、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

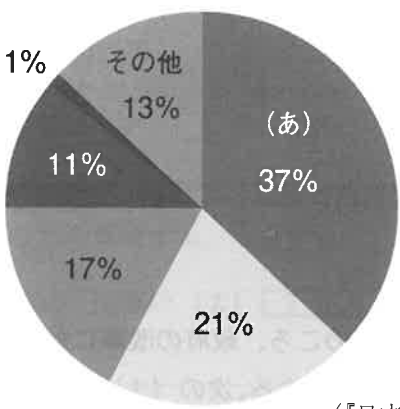
- （１）この時代のはじめ、幕府は大名や商人に許可を与えて外国との貿易を認めました。その結果、多くの貿易船が東南アジアなどに向かいました。シャム（現在のタイ）など東南アジア各地につくられた日本人の居留地を何といいますか、漢字で答えなさい。
- （２）この時代に薩摩藩や中国とも貿易をおこなった、次の地図アの島々を治めていた国を何といいますか、漢字2字で答えなさい。



問10 下線部㉗について、江戸時代に町人の文化が栄えた大坂（現在の大阪）に関する次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

- （１）大坂が「天下の台所」と呼ばれたのはなぜですか、説明しなさい。

（２）次のグラフは、現在の大阪府を含む阪神工業地帯の工業出荷額の割合を示したものです。（あ）に当てはまる分野を次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。



（『日本国勢図会 2020/21』をもとに作成）

- ア. 繊維 イ. 機械 ウ. 金属 エ. 食料品

（３）2020年11月1日、「大阪市廃止・特別区設置□□□□」がおこなわれました。□に入る語句を漢字で答えなさい。□内に1字とする。

問11 下線部㉘について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

- （１）江戸時代に、この川の流域の深川（現在の東京都江東区深川）で暮らし、次の俳句を詠むなど俳諧を確立した人物を、答えなさい。
「夏草や 兵どもが 夢のあと」

（２）次の表は、東京都の墨田区・千代田区・世田谷区・奥多摩町の面積や人口、65歳以上の人口の割合をまとめたものです。次のア～エのうち墨田区を選び、記号で答えなさい。

地域	面積 (平方キロメートル)	人口(人)	65歳以上 人口の割合(%)
ア	13.77	27万227	22.5
イ	58.05	93万9099	20.2
ウ	11.66	65891	17.3
エ	225.53	4863	49.1

（『くらしと統計』 東京都総務局統計部ホームページのデータ（2019年/2020年など）をもとに作成）

問 12 下線部㉔について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）下線部のことをおこなった老中の名前を、次のなかから１つ選び、記号で答えなさい。

ア. 田沼意次 イ. 水野忠邦 ウ. 松平定信 エ. 井伊直弼

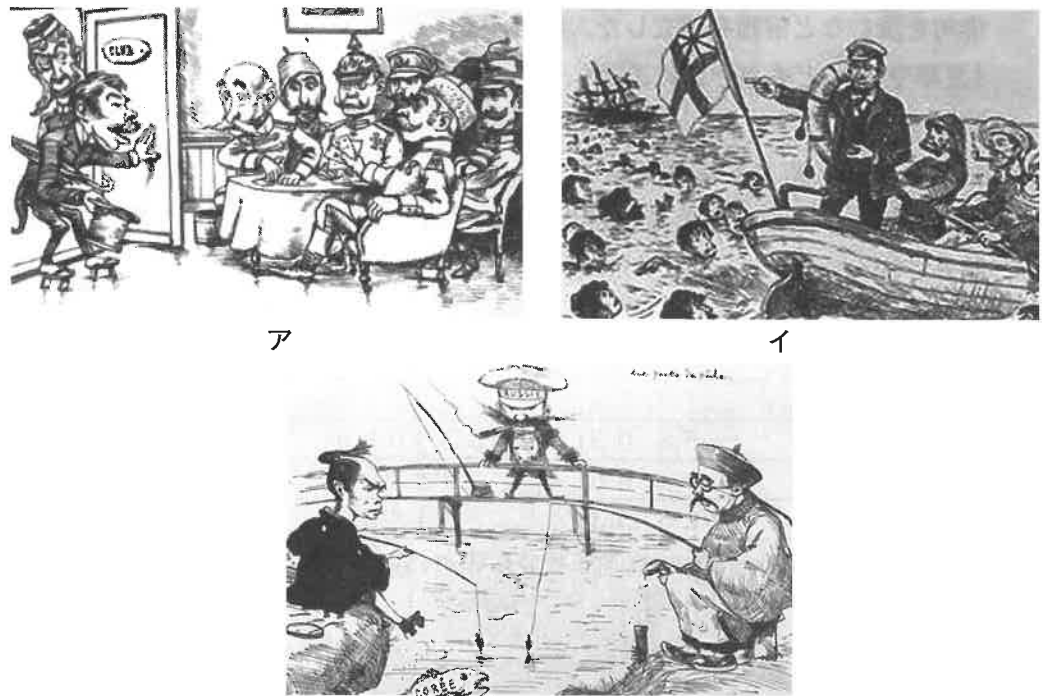
（２）１７７４年に前野良沢と杉田玄白が翻訳して出版した医学書を何といいますか、漢字で答えなさい。

問 13 下線部㉕について、明治の初めのころ、政府の改革に対する士族（旧武士）や農民の不満が高まりました。これに関する、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）１８７７年、西郷隆盛が中心となって起こした最も大きな士族の反乱を、漢字で答えなさい。

（２）江戸時代とは異なる税の取り立て方に対して、農民の不満が高まりました。農民が不満を高めた理由を、述べなさい。

問 14 下線部㉖について、１９世紀後半から２０世紀初めころまでに描かれた次のア～ウの風刺画があらわすできごとについて、年代が古い順に並べ替えなさい。



（すべて『最新日本史図表』 第一学習社）

問 15 下線部㉗にある、世界有数のカルデラをもつ山を、答えなさい。

問 16 下線部㉘について、次の日本国憲法の条文の空欄にあてはまる語句を答えなさい。□内に１字とする。

第 19 条 思想及び（ア）□□の自由は、これを侵してはならない。
第 21 条① 集会、結社及び（イ）□□、（ウ）□□その他一切の表現の自由は、これを保障する。
第 41 条 国会は、国権の（エ）□□□□であつて、国の唯一の立法機関である。

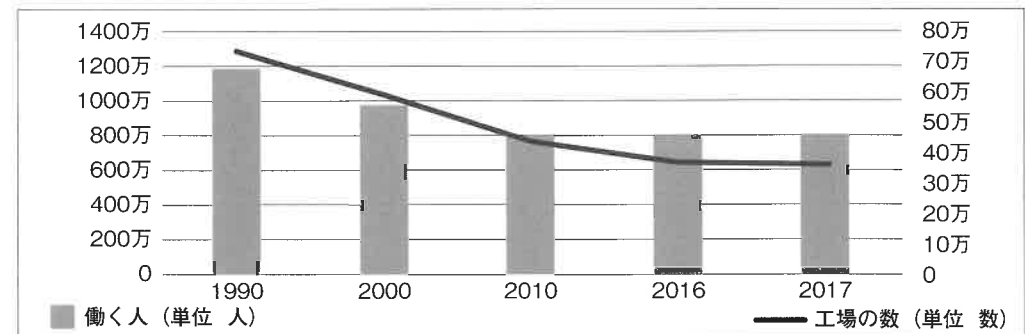
問 17 下線部㉙について、次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）１９５０年代から１９６０年代の日本の経済について述べた文章として間違っているものを、次のなかから１つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 重化学工業が発展した。
- イ. バブル景気と呼ばれた。
- ウ. エネルギー源が石油に代わった。
- エ. 新幹線や高速道路が整備された。

（２）日本の工業の特徴を表した次の２つの表について、ここから言えることを、２つあげて述べなさい。

【工場と働く人の数】



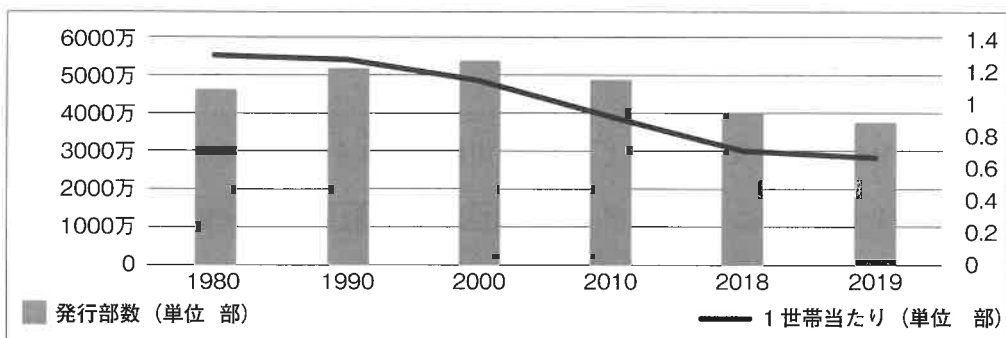
【工場の規模別割合（２０１７年）】

	大工場	中小工場
工場の数	1.0 %	99.0 %
働く人	32.1 %	67.9 %
出荷額	52.5 %	47.5 %

※中小工場…働く人の数が２９９人以下の工場
大工場…働く人の数が３００人以上の工場

（いずれも『日本国勢図会 2020/2021』をもとに作成）

(3) 次の表は日本の新聞の発行部数の変化を表したものです。2000年をピークに紙の新聞の発行部数が減っている理由を、答えなさい。



(『日本国勢図会 2020/2021』をもとに作成)

問 18 下線部㉔について、現在の日本の食料に関する次の (1) (2) の問いに答えなさい。

(1) 自分の国で必要な食料を自分の国で生産している割合を何といたしますか、漢字 5 字で答えなさい。

(2) 食料の「地産地消」とはどういう意味ですか、答えなさい。

問 19 下線部㉕の問題をはじめ、国の違いをこえて協力して活動している民間の団体を、漢字 5 字で答えなさい。

問 20 問題文を読んで、絵画と社会の関係について、あなたが考えたことを述べなさい。

問1	(1)			(2)			(3)			(4)				(5)		
	(6)					(7)								(8)		
	(9)					(10)			(11)					(12)		

問2		問3	
----	--	----	--

問4	(1)	①		②		(2)		川
	(3)	①		②		(4)		

()

問5	1つ目	2つ目
----	-----	-----

問6	
----	--

問7	(1)		(2)	
----	-----	--	-----	--

問8			問9	(1)		(2)		王国
----	--	--	----	-----	--	-----	--	----

問10	(1)		(2)		(3)			
-----	-----	--	-----	--	-----	--	--	--

問11	(1)		(2)		問12	(1)		(2)	
-----	-----	--	-----	--	-----	-----	--	-----	--

問13	(1)		(2)	
-----	-----	--	-----	--

問14	→	→	問15		山
-----	---	---	-----	--	---

()

問16	(ア)		(イ)		(ウ)		(エ)			
-----	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	--	--

問17	(1)		
	(2)	1つ目	2つ目
	(3)		

問18	(1)		(2)	
-----	-----	--	-----	--

問19				
-----	--	--	--	--

問20	
-----	--

受 験 番 号	氏 名	得 点	()